

2015年度第2回 J A北海道厚生連 帯広厚生病院倫理審査委員会 会議の記録概要

倫理審査委員会 事務局

開催日時	2015年5月13日（水） 18:00 ～ 18:40
開催場所	J A北海道厚生連帯広厚生病院 西棟2階 事務会議室2
出席委員名	一瀬 廣道「委員長」、北村 延夫、高村 圭、秋川 和聖、保前 英希、山内 英智、小森 均、木村 和善、大澤 歩、敦賀 俊介
欠席委員名	佐澤 陽
委員数	出席委員数：10名／全委員数：11名
審議課題：審議結果を含む主な議論の概要	
研究課題番号	2015-002
審議案件名	大腿骨近位部骨折術後患者のサルコペニアの有無と歩行機能獲得を予測する因子の検討
実施責任者	理学療法技術科 技師長 岩淵 達也
審議内容	新規に研究計画申請された当該課題について、実施責任者より研究の概要、事前審査における対応について説明された。実施責任者に症例数や同意説明に対する質問や意見に対する回答を確認し、それらを踏まえて、研究実施の妥当性について審議した。
審議結果	承認
研究課題番号	2015-003
審議案件名	ウイングスパンステントシステム市販後調査に基づく頭蓋内動脈硬化症に対する経皮的脳血管形成術/ステント留置術に関する前向き観察研究
実施責任者	脳神経外科 主任医長 金 相年
審議内容	新規に研究計画申請された当該課題について、実施責任者より研究の概要、事前審査における対応について説明された。実施責任者に治療への影響や症例数などの質問や意見に対する回答を確認し、それらを踏まえて、研究実施の妥当性について審議した。
審議結果	承認
研究課題番号	2015-004
審議案件名	癌末期の予後告知における患者・家族と看護者の関わり
実施責任者	外来1 科長 加藤 広美
審議内容	新規に研究計画申請された当該課題について、実施責任者より研究の概要、事前審査における対応について説明された。実施責任者に新たな質問等を確認し、委員の質問や意見に対する回答を確認し、それらを踏まえて、研究実施の妥当性について審議した。告知にかんする定義については一部修正を依頼した。
審議結果	承認

研究課題番号	2015-005
審議案件名	救急隊員との共同研究についての倫理的配慮について
実施責任者	西4病棟 助産師 上野 有佳里
審議内容	新規に研究計画申請された当該課題について、実施責任者より研究の概要、事前審査における対応について説明された。実施責任者に新たな質問等を確認し、委員の質問や意見に対する回答を確認し、それらを踏まえて、研究実施の妥当性について審議した。
審議結果	承認

2015年6月10日

脳神経外科・神経内科に入院中の患者さまへ

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた記録をまとめるものです。この案内をお読みになり、ご自身がこの研究の対象者にあたると思われる方の中で、ご質問がある場合、またはこの研究に「自分の情報を使ってほしくない」とお思いになりましたら、遠慮なく下記の担当者までご連絡ください。

【研究課題名】

ウィングスパンステントシステム市販後調査に基づく頭蓋内動脈硬化症に対する経皮的血管形成術/ステント留置術に関する前向き観察研究

【対象となる方】2015年5月19日（倫理委員会承認後）～2016年11月21日の間に、動脈硬化性頭蓋内動脈狭窄病変に対して、経皮的血管形成術を行った方

【当院での研究責任者】脳神経外科 医長 金 相年

【研究の目的】

頭蓋内動脈狭窄症に対するウィングスパンステントシステムを用いた経皮的血管形成術/ステント留置術の市販後使用成績調査をもとに、本治療の安全性と有効性を評価すること。

【利用するカルテ情報・資料】

診断名、年齢、性別、既往歴、入院時症状、血液検査、画像検査、心電図検査、治療内容など

【研究期間】2015年5月19日（倫理委員会承認後）より2017年12月31日まで

【個人情報の取り扱い】

お名前、住所などの個人を特定する情報につきましては厳重に管理を行い、学会や学術雑誌等で公表する際には、個人が特定できないような形で使用いたします。

【問合せ先】 J A 北海道厚生連 帯広厚生病院 脳神経外科
担当医師 金 相年, 大瀧 雅文
電話 0155-24-4161 (代表)
内線 金 (6118)、大瀧 (6116)